

平成 27 年度

静岡県議会エネルギー・環境等海外事情調査団報告書

平成 27 年 11 月 8 日～11 月 17 日

静岡県議会

目 次

I	はじめに	1
II	団員名簿	3
III	調査日程・行程図	4
IV	調査概要	
1	ツヴェンテンドルフ原子力発電所(オーストリア) 〈廃炉原発の再利用策調査〉	6
2	エコホテル・シュタットハレ・ウィーン(オーストリア) 〈エネルギーゼロホテル運営調査〉	11
3	シュラップハウス(スイス) 〈未成年のための保護施設調査〉	16
4	ユングフラウヨッホ排水処理施設(スイス) 〈山岳地域の排水処理調査〉	20
5	グリンデルワルド山岳救助隊(スイス) 〈山岳観光地の危機管理調査〉	25
6	ヴューレンリンゲン中間貯蔵施設(スイス) 〈放射性廃棄物の中間貯蔵状況調査〉	30
7	フリウリ・ヴェネチア・ジュリア州政府観光局(イタリア) 〈静岡県とのスポーツ交流状況調査〉	35
8	トリエステ精神保健局精神保健センター(イタリア) 〈精神保健システム調査〉	40
9	フュッセン市観光政策(ドイツ) 〈地域観光資源を活用した友好提携調査〉	45
10	フラウンホーファー研究機構本部(ドイツ) 〈産官学一体の研究事例調査〉	50

I はじめに



天野 一

私たち海外事情調査団は、県議会を代表して、平成27年11月8日から11月17日にかけて、エネルギー・環境政策及び福祉政策等の県政の重要課題をテーマにオーストリア共和国、スイス連邦、イタリア共和国及びドイツ連邦共和国を調査してまいりました。

海外事情調査は、我々議員の見識を広め、県政へ政策提言するための参考となるものでありますので、調査先や行程等につきましては、選考委員会において詳細に検討し、調査の目玉を決め、日本では学べないものを効率的・効果的に調査することを主眼に選定しました。

また、今回は、今期初めての調査となりますので、新しい試みとして調査内容を一層充実させるため、視察国等の実情に詳しい外部講師や調査内容に関連のある県の施策担当者を招いて、団員全員を対象に事前研修会を開催し、万端の準備をして調査に臨んだところであり、非常に有意義な調査が実施できたと考えております。

その一端を披露しますと、オーストリア・ウィーン近郊のツヴェンテンドルフ原子力発電所は完成したにもかかわらず、国民投票の反対多数により、一度も稼働せず廃炉となった世界で唯一の原子力発電所です。

現在、施設の一部は解体され、太陽光発電や原子力発電に携わる技術者を対象とした教育施設として利用されているということを会議室で説明を受けた後に、ヘルメット等を着用し、稼働していれば見ることのできない格納容器など

の原子炉の内部を視察しながら施設担当者から原子力発電の仕組みや廃炉後の利活用について非常に詳細な説明をいただきました。

インターネットなどの普及により様々な情報が入手できるようになった今日でも、やはり直接話を聞き、じかに見ることの重要性を再認識したところであります。

その他にも、エネルギーゼロホテル、未成年のための保護施設、山岳地域の排水処理方法など、本県にとって非常に参考となる事例を調査してまいりました。行く先々で、説明者の丁寧な説明と的確な通訳、そして何よりも報告書執筆担当者が中心になった熱心な質疑応答がありましたので、その詳しい内容については団員の皆様の報告をごらんいただければ幸いです。

この調査成果につきましては、今回から、議員全員が情報を共有できるよう報告会を開催するとともに、県議会ホームページに本報告書を掲載し、広く県民の皆様にもごらんいただくこととしております。

今後、私たちは、この調査で得られた貴重な知識を政策提案や本会議での質問など、目に見える形で県勢の発展のために生かしていきたいと考えております。

最後となりましたが、調査先の皆様を初め、御協力くださいました関係の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成 28 年 3 月

静岡県議会エネルギー・環境等海外事情調査団

団長 天 野 一

Ⅱ 団員名簿

	役 職	氏 名	会 派
1	団 長	天野 一	自 民 改 革 会 議
2	副団長	多家 一彦	自 民 改 革 会 議
3	副団長	小長井由雄	ふじのくに県議団
4	団 員	中谷多加二	自 民 改 革 会 議
5	団 員	渥美 泰一	自 民 改 革 会 議
6	団 員	山田 誠	自 民 改 革 会 議
7	団 員	竹内 良訓	自 民 改 革 会 議
8	団 員	和田 篤夫	自 民 改 革 会 議
9	団 員	仁科喜世志	自 民 改 革 会 議
10	団 員	鈴木 澄美	自 民 改 革 会 議
11	団 員	阿部 卓也	ふじのくに県議団
12	団 員	田口 章	ふじのくに県議団
13	団 員	鈴木 智	ふじのくに県議団
14	団 員	山崎真之輔	ふじのくに県議団
15	団 員	早川 育子	公明党静岡県議団
16	団 員	山本 貴史	富 士 の 会

—	随員	大野 彰彦	議会事務局次長兼総務課長
—	随員	市川 利光	議会事務局議事課主幹

Ⅲ 調査日程・行程図

調査日程

月 日	国・都市	調査先	宿泊地
11月8日 (日)	—	羽田空港⇒ミュンヘン空港 ⇒ウィーン空港	オーストリア ウィーン
11月9日 (月)	オーストリア ツヴェンテンドルフ ウィーン	○ツヴェンテンドルフ原子力発電所 ○エコホテル・シュタットハレ・ウィーン	同上
11月10日 (火)	スイス チューリッヒ	ウィーン空港⇒チューリッヒ空港 ○シュラップハウス	スイス インターラーケン
11月11日 (水)	スイス ユングフラウヨッホ インターラーケン	○ユングフラウヨッホ排水処理施設 ○グリンデルワルド山岳救助隊	同上
11月12日 (木)	スイス ヴェーレンリンゲン	○ヴェーレンリンゲン中間貯蔵施設 チューリッヒ空港⇒ヴェネチア空港	イタリア ヴェネチア
11月13日 (金)	イタリア トリエステ	○フリウリ・ヴェネチア・ジュリア 州政府観光局 ○トリエステ精神保健局精神保健センター	同上
11月14日 (土)	イタリア ヴェネチア	ヴェネチア空港⇒ミュンヘン空港	ドイツ ミュンヘン
11月15日 (日)	ドイツ フュッセン	○フュッセン市観光政策	同上
11月16日 (月)	ドイツ ミュンヘン	○フラウンホーファー研究機構本部 ミュンヘン空港⇒羽田空港	(機内)
11月17日 (火)	—	ミュンヘン空港⇒羽田空港	—

行程図

